

# 防災に関する人材育成の推進

(幹事機関：中部地方整備局)

# 「人材育成ワーキング」の今後の検討事項

平成26年度「第1回人材育成WG」を開催 (H27.3.4)

現状の課題認識、育成すべき人材やそのフォローアップ、行政の役割分担などについて討議

- (1)防災に関する「人材育成」の課題認識の共有
- (2)防災力の向上に資する人材育成とは
- (3)公助を担う行政職員の役割は何か



～ 次年度以降に開催する「人材育成WG」の方向性を明確化～

今後の検討事項

WG構成員からの意見を集約し、今後の検討事項を整理

「人材育成ワーキング」の今後の検討事項

## 1. 人材育成の方向性を検討

・最終目的は「国民全員が自助・共助行動できるように促していく」としつつ、次のどちらを重点に置くか議論。

- ①「人々の生活や社会活動など各分野の防災キーパーソンの発掘・教育」
- ②「国民全体の防災意識の底上げ」

## 2. 防災マインドの醸成

### 1) 防災マインドの醸成方法

- ・学校教育の場において、幼少期の段階から防災意識の醸成方法を検討
- ・意識付けやきっかけづくりを行った上で知識の供与（詰め込み型としない）
- ・各組織で実施している初任研修、昇任時研修や免許更新講習などでの防災教育の活用方法を検討

### 2) 防災マインドの継続性の担保

- ・継続性の担保のしくみを検討（複数の仲間で互いを監視、下支えの役目）
- ・組織を越えて施策を実施できる枠組みの検討（「戦略会議」のイメージ）
- ・各省庁が連携してカリキュラムを企画する研修会の開催など（行政担当者の意識の継続）
- ・相談しやすい人脈ネットワークの形成

# 「人材育成ワーキング」の今後の検討事項

## 「人材育成ワーキング」の今後の検討事項（つづき）

### 3. 教育すべき対象者・教育内容・役割分担

#### 1) 教育すべき対象者・教育内容

- ・対象者、身に付ける知識、教育内容（初級／上級）、担当事務局、教育スタッフ

#### 2) 役割分担の明確化

- ・行政主要機関の役割分担の明確化（整備局・各県・市町など）

#### 3) その他組織との連携

- ・消防、地元気象台、農協・生協・労務局などとの連携を検討



### 4. 人材育成のフォローアップ

#### 1) 育った人の活躍の場の提供

- ・育った人の活躍の場を提供することで更なるステップアップ
- ・互いに気持ちよく仕事ができる場づくり（民生委員とボランティアなど）

#### 2) 「防災の専門家」の体系整理

- ・防災専門家の活躍の場による分類（地域の専門家、企業の専門家など）
- ・専門レベルの分類（自主防災レベル、地域コミュニティーレベル、地域統括レベルなど）

#### 3) 「教える側の人材不足」への対応

- ・教育スタッフの不足にに対する対応方法を検討

### 5. 公助を担う行政の役割

- ・「場づくり」（自主防と防災リーダーの連携促進など）
- ・「仕組みづくり」（防災ソフト施策に対する補助金制度の策定など）ほか

### 6. 中部圏の産業を守るための中核施設の設置検討

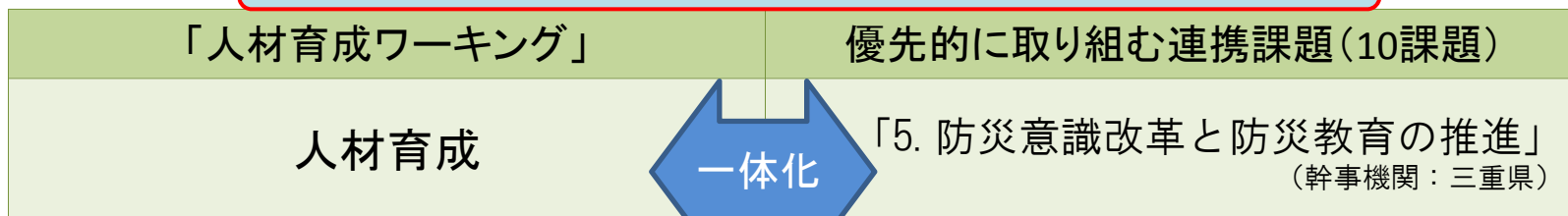
# 「人材育成ワーキング」の今後の検討事項

## 平成27年度の施策

- 「優先的に取り組む連携課題(10課題)」の一施策として「防災意識改革と防災教育の推進」と一体的に推進。
- ワーキングに消防・労務局など新たな構成員を加え、様々な立場から人材育成を検討

(第6回)南海トラフ地震対策中部圏戦略会議  
※「第1回人材育成WG」: 今後の検討事項を報告

幹事機関(連携10課題)中間レビュー



【人材育成】＝【防災教育】として一体的に推進

ワーキングに新たな構成員を加え、  
様々な立場から人材育成（＝防災教育）を検討  
新たな構成員（案）：消防、労務局、教育委員会、地元気象台、農協・生協など

(第7回)南海トラフ地震対策中部圏戦略会議  
※検討結果の中間報告